

区 分	主 な 意 見
<p>1. 放課後児童支援員と補助員の役割に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○省令の考え方は、2人とも放課後児童支援員を原則とし、その上で1人は補助員であってもよいということであり、補助員が担う役割を限定するというのは、あまり好ましくないのではないか。（第1回WT） ○放課後児童支援員は特に地域や学校の情報を持っている可能性があるため、その人たちに保護者との連携や地域の関係者との連絡などの業務を担わせなければむしろ放課後児童クラブにとって損失なのではないかという観点から、役割を限定しないほうがよいのではないか。（第1回WT） ○職員数が少ない事業所では、補助員が支援員と同じような役割を求められている現実はあるが、補助員が担うべき役割及び職務は、最低限求められるものにある程度限定した方がよいのではないか。（第1回WT） ○放課後児童支援員と補助員の役割分担は、各事業所で定めたらよいのではないか。国としてこれを出すことは、研修の科目を検討するには、概念的には整理が必要であるが、こういう形で出て行くのは余り望ましくないのではないか。（第1回WT） ○補助員の役割について、放課後児童支援員の業務を全体的に補助する役割と表現する方がわかりやすいのではないか。（第1回WT）
<p>2. 専門研修(放課後児童コース)に関すること</p>	<p>(研修全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助員は、専門研修(放課後児童コース)を受講した子育て支援員の資格を持っている人のほうが望ましいので、ガイドラインで補助員は子育て支援員(放課後児童コース)の専門研修を受講していることが望ましいということと、事業者はそれを受講させるように努めることというような努力義務の規定を改めて置いたほうがよいのではないか。（第1回WT） ○子育て支援員の研修で、認定資格研修と同じ内容を受けていただいて、その科目を免除し、受講済みとするような考え方もあるのではないか。放課後児童クラブで働いていく上では、ステップアップになり、残りの科目を受講し、2年間補助員として勤務すれば、放課後児童支援員の資格が得られるというコースも考えられるのではないか。（第1回WT） ○通常スキルアップ研修とあわせて研修の役割を整理する必要があるのではないか。（第1回WT） ○基本研修を受ける段階で、放課後児童クラブの補助員になりたいと研修を受講する人もいれば、基本研修を受けた後、専門コースのどちらに進もうかと決める人もいるため、研修のハードルは高くないほうがよいのではないか。（第1回WT）

これまでの検討会（第1回専門研修WT：子育て支援員専門研修関係）における委員の主な意見②

区 分	主 な 意 見
<p>2. 専門研修(放課後児童コース)に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ステップアップという意味で、認定資格研修と重ねるやり方も考えられるが、それとは切り離れた初任者研修として組み立てたほうが時間数もある程度絞れるし、ハードルが高い研修にはならず、組み立てやすいのではないかと。受講者の中には、放課後児童コースを選んだとしても、働き先が決まっていない方が多い可能性があり、将来働くために今、受講しておきたいという方も少なからずいるのではないかと。(第1回WT) ○中高年の方などの場合、自分たちが受けた教育や体験から入ってしまうと混乱が生じる可能性があるため、今の子どもの権利などを学ぶプログラムがあるとよいのではないかと。(第1回WT) <p>(研修項目・科目等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定資格研修の16科目の1から6までを幅広く入れたほうがよいのではないかと。(第1回WT) ○放課後児童支援員が行う業務を全体的に補助する方を補助員とイメージするのであれば、研修についても、認定資格研修の16科目を全体化し、コンパクトにしたような研修の設定が適切ではないかと。(第1回WT) ○「1. 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の理解」①～③を2コマにして、認定資格研修の「4. 放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携・協力」を一部入れたらどうか。学校や地域との連携、保護者の問題は必ず触れる必要がある。また、「2. 子どもを理解するための基礎知識」を「子どもの発達理解と保護者の生活の実情」という形にして、この中に保護者視点を、認定資格研修の「4. ①保護者との連携・協力と相談支援」を入れてはどうか。さらに、認定資格研修の「6. 放課後児童支援員として求められる役割・機能」を「放課後児童支援員の仕事内容と職場倫理」とし、5つ目のジャンルをつくるか、あるいは3つ目または4つ目に入れてはどうか。(第1回WT) ○「2. ②子どもの発達理解」は基本研修にもあり、全体的に0歳から18歳未満までを捉えた子どもの発達の基本が入っているので、少し重なる可能性がある。認定資格研修の「⑤児童期(6歳～12歳)の生活と発達」を就学前の子どもとは違う子ども像というものを理解するため、入れておいたほうがよいのではないかと。(第1回WT)

これまでの検討会（第1回専門研修WT：子育て支援員専門研修関係）における委員の主な意見③

区 分	主 な 意 見
2. 専門研修(放課後児童コース)に関すること	<p>○基本研修の「⑤対人援助の価値と倫理」では、しっかりと利用者の声や子ども気持ちを受容するとか、傾聴するとか、基本的な姿勢を学ぶために、ロールプレイングを含めた演習なども必要だと思うが、講義のみであるならば、専門研修の中で大事になってくるのではないか。(第1回WT)</p>
3. その他	<p>(子育て支援員との整理)</p> <p>○子どもに係る仕事をしたいという人が、今の時代に何を大事にしなければいけないか、どういうことに気づきが必要なのかということを研修のどこかで学ぶ必要がある。子どもから信頼されるということが仕事の大前提で、そのことの大事さと今日的な意味で、子どもとの関わりの中で、それがどのように培われていくのかということについての総論的な部分があるとよいのではないか。(第1回WT)</p>